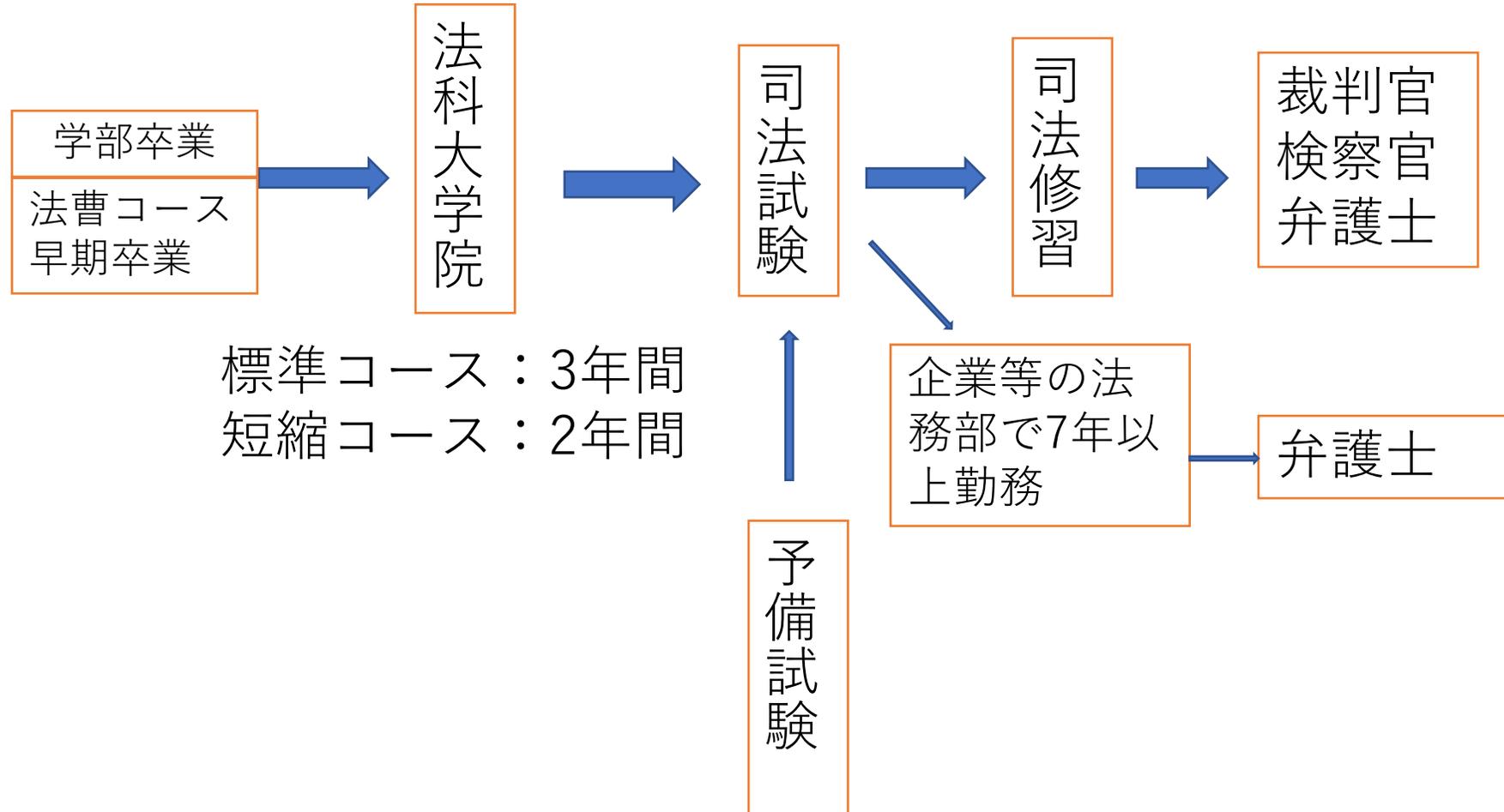


法曹になるためのルート



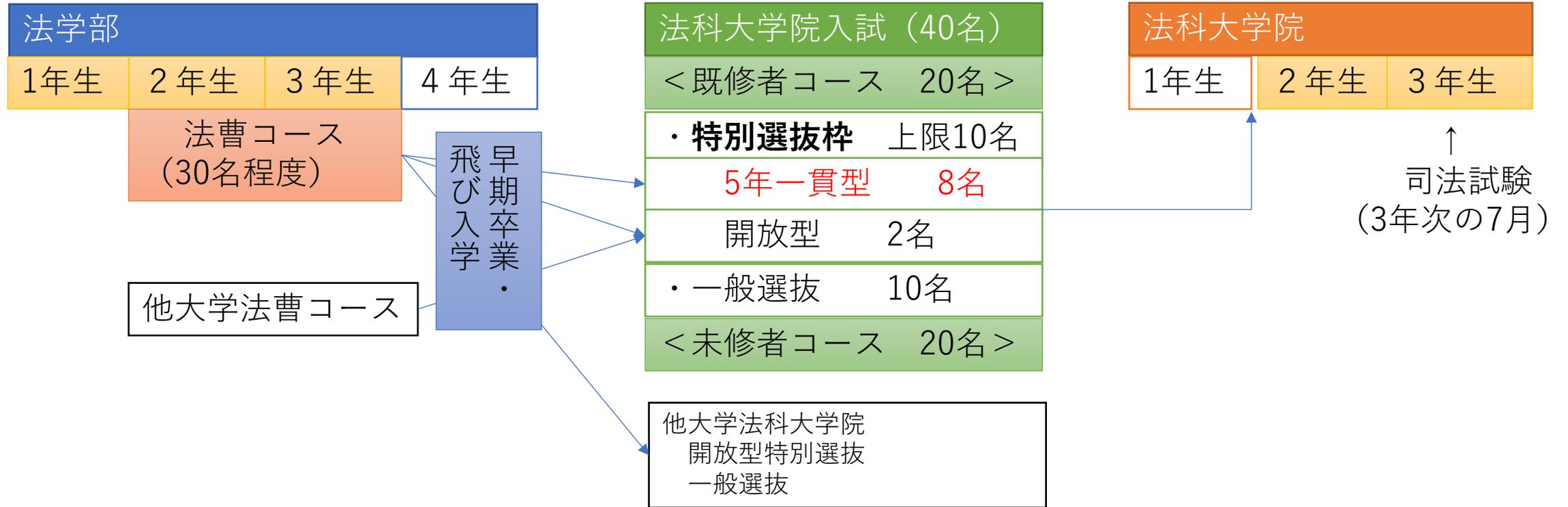
法科大学院の志願者数と合格状況

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
法科大学院 志願者数	11,450	10,370	8,278	8,160	8,058	9,117	8,161	8,341	10,564	12,174	13,513
入学定員	3,809	2,724	2,724	2,566	2,330	2,253	2,233	2,233	2,233	2,197	2,197
入学者数	2,272	2,201	1,857	1,704	1,621	1,862	1,711	1,742	1,968	1,971	2,076
司法試験 受験者数	8,015	8,016	6,899	5,967	5,238	4,466	3,703	3,424	3,082	3,928	3,779
司法試験 合格者数	1,810	1,850	1,583	1,543	1,525	1,502	1,450	1,421	1,403	1,781	1,592
対受験者 合格率	22.6	23.1	22.9	25.9	29.1	33.6	39.2	41.5	45.5	45.3	42.1%

- 司法試験合格者数は1,500名程度。近年では受験者数が再度増加傾向にあり、合格率は40%超にまで上昇。

法曹コース・5年一貫型法曹教育

法学部での3年間 + 法科大学院での2年間



5年間一貫プログラムの流れ

◆ 各段階での到達目標を設定

2年生終了時目標

共通到達度確認試験で全国平均超

4月：法曹コーススタート
春学期：法解釈演習
秋学期：応用演習
休暇期間：授業・面談等

バックアップ演習等

3年生終了時目標

短答合格＋予備試験に挑戦できるレベル

春学期：必修演習
秋学期：必修演習
休暇期間：授業・面談等

バックアップ演習等

2年生終了時目標

司法試験合格のための準備が整ったレベル

春学期：法学実務演習Ⅰ
秋学期：法学実務演習Ⅱ

担任面談・チューター等

3年生前期終了時目標

司法試験合格レベル

春学期：総合科目で総仕上げ
夏休み：在学中受験

担任面談・チューター等

◆ 演習で分析力・論述力等を高める。課外のゼミでの論文・短答演習等を通じて知識や論述力をアップ

◆ 早期合格を狙う学生のためのカリキュラム改革を実施。少人数教育で充実したサポート

法学部

法科大学院

5年一貫教育のメリット

- 大学4年次に予備試験に合格するのと同じスピードで司法試験合格を目指すことができる（在学中受験で合格すればより早い）。
- 法科大学院入試のための準備に特段の労力を割く必要がなく、むしろその負担を軽減できる。
- 司法試験受験まで1年半の時点で、**学修環境を変える必要がない。**
- **信頼できる教員の指導を継続的に受けることができる。**
- 法科大学院で法学既修者が既修として認められる単位の上限は30単位であるが、法曹コースからの進学者は、46単位が上限となる。従って、学部時代の単位を用いて法科大学院での履修負担を16単位分軽減することができる。

法曹コースとは？

- 法曹コースは、法律学科、国際関係法学科、地球環境法学科のいずれの学科の方でも参加できます。
- 1年生の秋学期（1月頃）にコース登録の希望を受け付け、法曹コース運営委員会が審査を行い、学年末にコース登録の可否を決定します。
- 法曹コースは、以下のような内容から構成されます。
 1. **法曹コース指定科目**：法曹コース生は、各学科の必修科目とは別に、コースを修了するための指定科目を全て履修する必要があります。
 2. **法曹コース生用授業**：2年次、3年次では、コース生を対象とした正課・課外の授業が開設されます。
 3. **個別指導・添削等**：必要に応じ、専任教員や修了生弁護士による個別の対応も頻繁になされています。
 4. **各種の自習教材**：法科大学院で利用している動画教材や、TKC教育支援システム等、自学自習を進めるためのツールが提供されます。
 5. **その他**：夏季・春季休暇時の授業、教員や先輩、直近の司法試験合格者との交流会などを随時実施しています。

本学の法曹コースの指定科目

	1年生		2年生		3年生	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
指定科目	*法学入門 (1)	*憲法基本的人 権 (4)		*憲法統治機構 (2)		
	*民法総則Ⅰ (2)	*民法総則Ⅱ (2)	*債権法各論Ⅰ (2)	*債権法各論Ⅱ (2)		
			*物権法 (2)	*担保物権法 (2)	*会社法Ⅰ (4)	
			*債権法総論Ⅰ (2)	*債権法総論Ⅱ (2)	*民事訴訟法Ⅰ (4)	
			*刑法総論 (4)	*刑法各論 (4)	*刑事訴訟法 (4)	
				*基礎演習B (民法) (2)		*基礎演習B (商法) (2)
			*法解釈演習 (2)	*応用演習(2)	*必修演習 (2)	*必修演習 (2)
推奨科目	現代社会と 法律実務 (1)	法解釈基礎 (2)	行政法総論 (2) 法実務入門 (2)			行政救済法 (2)
共同開講科 目					スポーツ・エンタテ インメント法(1)	金融法(2)、 Law and Practice of International Business Transactions(1)、 法と経済学(2)、 法社会学(2)

法曹コースへの登録について

- 出願・選抜時期

1年次の1月頃にアンケートが掲示されるので、登録希望者は所定の期限までに回答すること（選考結果については3月に通知予定）。

- 成績要件

- 修得単位数：34単位以上

- GPA要件：総合GPA 2.8以上（※ただし、アンケートの回答内容等に照らし、出願時に2.8に満たない場合でも登録が認められる可能性もあり）

- 継続要件・コース登録辞退

2年次末に（4年次進級の場合には3年次末にも）成績および修得単位数等に基づき、資格継続の審査を行う。進路変更等の理由によりコース継続を辞退することはいつでも可能。

早期卒業制度要件とコース修了要件

※法曹コースの早期卒業要件（全学の早期卒業要件とは異なるので注意）

- ・ 法学部開講科目の総合平均GPAが3.0以上であること
- ・ 法曹コース指定科目につき、単位を修得していること
- ・ 法学部の所属学科が定める卒業に要する科目、単位数の要件を満たしていること

※コース修了要件（4年卒業での進学、飛び入学〔中途退学しての進学〕などの場合）

- ・ 法曹コース指定科目の5割以上がA若しくはBの成績であること、ないし、法学部開講科目の平均GPAが2.8以上であること
- ・ 法曹コース指定科目につき、単位を修得していること
- ・ 法学部の所属学科が定める卒業に要する科目、単位数の要件を満たしていること